事業番号　208

平成23年行政事業レビューシート　（外務省）

事業名	国内啓発活動費	担当部局庁	大臣官房　外務報道官組織	作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度	担当課室	国内広報課	課長　佐久間　研二
会計区分	一般会計	施策名	Ⅲ－2　報道対策、国内広報、IT広報	
根拠法令（具体的な条項も記載）	外務省設置法第4条	関係する計画、通知等	－	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

「大学生国際問題討論会」を開催することにより、国際問題に関する自由闊達な討論を通じ、次代を担う青年層の我が国外交政策や国際情勢に対する関心や理解を深め、併せてディベート能力を養うことにより、国際社会で活躍する人材を育成することを目的とする。

事業概要（5行程度以内。別添可）

外交政策や国際情勢に関する論題に基づいて、学生チーム対抗により行うディベート大会。
参加対象は大学生・大学院生2～3名で構成する学生チームで、事前に肯定側立論書の提出を求め、書類審査により4チームを選考する。討論会本選には右4チームが出場し、準決勝戦2試合と決勝戦を行う。
平成22年度は、9月26日、文京シビックセンターにおいて「大学生国際問題討論会2010」を開催した。温室効果ガス25%削減に関する論題のもと、首都圏のみならず北海道、東北、関西など全国各地の20チームから立論書の提出があった。

実施方法　□直接実施　■業務委託等　□補助　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位:百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	3	2	2	2	2
	補正予算	－	－	－	－	
	繰越し等	－	－	－	－	
	計	3	2	2	2	2
執行額		2	1	1		
執行率（%）		77.6	53.3	47.7		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値（23年度）
事業実施後のアンケートにおける「討論会は効果的」の回答率。（目標値：80%以上）	成果実績	%	100	81	89	80
	達成度	%	125	101	111	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
参加者数	活動実績（当初見込み）	人数	109	148	125 （150）	－ （150）

単位当たりコスト　9，402（円／参加者1名）

算出根拠　開催経費（X）：1，175，306円
参加者数（Y）：立論書提出52名＋傍聴者73名＝125名
（X）÷（Y）

平成23・24年度予算内訳（単位：千円）

費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
開催業務委託費	2,010	2,018	
計	2,010	2,018	

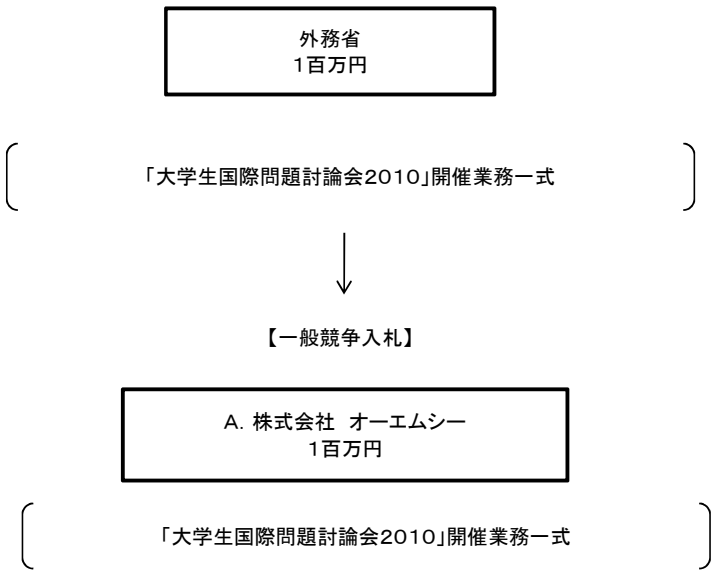
事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	－
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	一般競争入札を行っており、予算の単価、総額ともに妥当な水準であると考えられるが、価格競争であるため、業務委嘱経費が下がり、高い不用率となった。（平成21年度からはポスターより安価なチラシ主体に変更したほか、入賞者への記念品授与を取りやめるなど、大幅な経費削減を図っている）。 また、募集広報の結果については、首都圏内の大学（9校）よりも、北海道（1校）、東北（2校）、関西（8校）など地方大学からの参加（11校）が過半数を超えるなどの成果が見られ、予算執行は適正に行われたと考える。募集開始を早め、周知期間を長くすることで、応募チーム数の増加が期待出来る。		

予算監視・効率化チームの所見	
現状通り	―

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
―

補記　（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A. 株式会社 オーエムシー

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費等	大学生国際問題討論会開催業務一式	1
計		1

E.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

B.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

F.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

C.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

G.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

D.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

H.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	開催業務一式	1	10	80.8
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					